



団地管理組合法人加古川グリーンシティ  
 管理組合広報委員会  
 グリーンシティ自治会  
 管理事務所 ☎425-6852  
 ホームページ <http://www.greencity.gr.jp/>  
 メールアドレス [kanrikumiai@greencity.gr.jp](mailto:kanrikumiai@greencity.gr.jp)

## 管理組合からのお知らせ



### 《クリーン作戦ミッション完了からの報告!》

絶好の晴天のもと、参加者約150名(大人100名、子ども50名)のご協力により、**クリーン作戦**が行われました。敷地外周の水路清掃、不要自転車の整理、敷地内外のゴミ拾いや草引き、2か所の井戸掃除、2号井戸の日除け取り付け、縁石誘導灯の追加設置と多岐にわたり、みなさんのご協力によりけが人もなく、無事に終えることができました。子どもたち、お父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんもほんとお疲れさまでした。また、まかないで空腹を満たしてくれた、イカ焼きチームもありがとうございました。

特に水路清掃では、昨年は雨により取り除けなかった汚泥が残っており、今年は大変だったと思います。井戸では、子どもたちが楽しく掃除を行っている姿が微笑ましく思われました。全体の様子を見させていただき、管理組合としてグリーンシティの“**底力**”を感じました。防災会が提唱している“イベントへの参加”が地域力を高める基本だと感じました。惜しくも、参加が叶わなかった方も来年の参加をお待ちしています。また、7月には“夏祭り”が行われるので、お手伝いをお願いします。まだまだ、遅くはありません。グリーンシティは居住者である“あなた”と“あなたの知恵”をこれからもずっと必要としています。



### 《代表理事交代のお知らせ!》

E棟代表理事の病気療養に伴い、提出されていた辞任要請を3月理事会にて受理いたしました。後任代表理事には、昨年の公開抽選会で補欠に選出されていたO棟〇〇〇〇〇〇氏に決定いたしました。

## 修繕委員会からのお知らせ

### 《パーゴラ(簡易日除け)完成》

居住者の皆様にコミュニティ広場として利用していただいております防災2号井戸に、パーゴラの骨組みを設置しておりましたが、この度緑の葉っぱを屋根代わりに取り付けて、日除け対策が完了しました。これからもっと日差しが強くなる季節を迎えますので、暑さ対策に注意をしていただき、防災2号井戸を活用していただければ幸いです。



### 《歩道縁石の誘導灯設置》



4月25日(クリーン作戦の日)に敷地内東側に誘導灯(ホタル)を設置しました。夜間の歩行の安全対策として設置しておりますので、くれぐれもイタズラをしないで下さい。

### 《来客駐車場の休日・夜間の苦情対応窓口について》

5月1日より来客駐車場のトラブルについては、警備会社アムス(AMS)が24時間365日対応することになりましたので、お知らせします。なお、精算機の簡易な処理・集金業務は従来通り管理事務所にて行います。駐車場設備の操作に関する問い合わせや苦情については、精算機に緊急連絡先のステッカーを貼っていますので、そちらに電話してください。



# 見つけよう防災の種

最近「防災」を勘違いしている人が多い様に感じるのは、日本の防災の転換点ともいえる1961年「**災害対策基本法**」施行からではないかと考えられます。確かに素晴らしい法律！でもこの日を境に「**依存防災**」(何処の誰か知らない他人に命を丸投げした防災)がスタートしたことで、日本の防災はスタートラインを引き間違ってしまったと考えられます。「何を間違った」と反論も聞こえてきそうですが、結果として阪神・淡路大震災や東日本大震災では、何故あそこまで多くの人の命を巻き込み、根こそぎやられてしまったか？どこが・・・？何が・・・悪かったのか？



私たちは子どもの頃から「**地震が来たら机の下に**」と教えられてきました。しかし、それを活かさなかった結果が多くの人の命を消してしまったのです。

何故に活かされなかったか？ひょっとすると私たちは地震や災害の本当の力、恐ろしさを実際には判っていないのではないかと考えられます。

「**50年や100年に一度の確率**」と聞かされても、「ついこの間大地震が発生したから、しばらく発生しないよね」と勘違いをしています。確かに、揺れたその震源は50年や100年先かも知れないが、ほんの数キロ先では今か今かと力を蓄えていることを都合良く忘れ去っています。

相手は、大自然であり、人間が幾らあがいても正確な周期や事前予測なんてできません。日々の天気予報ですら、予測できないことも多く、傘を持たずに出て雨に濡れてしまうこともよくある笑い話です。



ところが近年、メディアでは偉い先生方が出演され、研究成果を持ってして自然をすべて理解したかの如く放送されます。すると視聴者側は、実際には不完全な情報でも正しいものと聞き間違えてしまいます。

また番組制作側と言えば、日常的に災害や防災を考えている人達ではなく、番組制作というコンペに勝ち「**はじめて防災やります**」の人達が制作している場合が多いのです。それを、有名な司会が災害のすべてを伝えているかの勘違いを一般視聴者に起こさせてしまっていることも原因のひとつです。でも大抵の「防災番組」では「防災」と言いながら大半を災害発生「メカニズム」や災害原因の解説に時間を割き、命を守る



「備え」である本来の防災情報は、一部分しかないのが現状であることから読み取れるはずですが。メディアだけではなく行政でもよくある話。市町村のホームページ「**防災情報**」のタグをクリックす

ると「**現在、災害に関する情報はありません**」と表示されることが多々見受けられます。これって防災情報ではなくて「**災害情報だろう**」って突っ込んでしまう。これは「**防災情報**」と「**災害情報**」の混同であり、行政ですら間違っただけで50年余り経ってしまっています。やはり「伝えること」も整理をしなければ、今後も一般市民の防災意識は「**依存防災**」となり「**命を守る防災**」ができないままに次の災害を経験することになります。

それとは別に、情報通信機器では伝えることのできないもの、それは災害現場にしか存在しないもののひとつ「**におい**」です。この「におい」が伝わらないから、今のネットで残忍な現場写真を平気で目の当たりにしてしまうのです。しかし、経験したことがある臭いは、巧みな言葉の解説から感覚として自分の記憶から呼び出すことで「**こうではないか**」と危険察知をすることができます。臭いの記憶にないから「**恐ろしい事**」と感覚として捉えることができないのです。



「**におい**」から「**災害後の大変さを知らせる**」を描写できたものが『**人と防災未来センター(神戸)**』内にある大震災ホールのドキュメンタリー映像「**このまちと生きる**」この中にあります。

ある少女を通じて、被災者の視点による被災直後から復興に至る経過を紹介する映像です。その中でインパクトのある表現が数ヶ所存在します。そのひとつに、避難場所の体育館で「**におい**」を表現した言葉が出てきます。多くの人が体験したことのある「**イヤなにおい**」だから直ちに頭の中で理解し、避難所の大変さを噛みしめることができるのです。この臭いは、ほとんどの人が学生時代の体育館での生徒集会、夏のムシムシした教室、体育授業のマットの臭い等と呼ばれているのです。これは覚えようとして記憶に残したわけではなく、自然と身についたものなのです。



人は記憶しようと努力しても長期的に記憶できないものです。典型的なのは、中学校3年生でほとんどの人が覚えたとはいえない**二次方程式**を覚えている人が少ない。しかし、小学校で覚えた**九九**は大抵の人は覚えている。これは日々の生活の中で必要としているかどうかではないでしょうか。

そう考えると「**防災**」という「**備え**」を身につけるためには、日常の中で自然と記憶できるようにしておくこと。これが重要です。話を戻すと子どもの頃に覚えた「**地震が来たら机の下に**」は、なぜそうしなければならないかの意味をもう一度考える時が来ています。

**命を守る行動は、日々の生活の中に組み込むことで「依存防災」からの脱却をしましょう。**



## 自治会からのお知らせ 第22回クリーン作戦の報告

毎年4月29日(昭和の日)に実施していたクリーン作戦を、この日にバッティングした「小学校の参観日」を避けて25日(土)に実施しました。

実施日を変更したにも拘わらず、蓋をあけてみると「中学校の参観日」だったとは残念です!

3月の自治会役員会で報告があれば別の日に変更することもできたと思います。

グリーンシティが目指している地域力を高める“イベントへの参加”が、一部の方にはまだまだ浸透していないことを痛感させられました。

その他の理由で今回参加できなかった方も、来年はぜひ参加していただき、地域力の高揚に貢献してみませんか?



## 小学校PTAからのお知らせ

新1年生を登校班に迎え1ヶ月がたちました。今年度も安全に登校できるよう、ご家庭でも「走らない」「集合時間を守る」「休みの連絡をする」などのご指導よろしくをお願いします。

### <運動会のお知らせ>

5月30日(土) 雨天順延

地区でのブルーシートは敷きませんので各自でご準備をお願いします。  
(テントの持ち込みは禁止です。)



## 中学校PTAからのお知らせ

廃品回収のお知らせ

日時: 6月 7日(日) 雨天: 6月14日(日)  
当日の朝8時までにお出しく下さい。ご協力よろしくをお願いします。

## こんなこと知ってましたか?

絵本の大切さ、その魔法の力を話し始めると、本当にきりがなほどですが、そろそろ・・・と思います。最後に“読書”について、よく質問されることだそうですが、小学校4~5年生頃の子どものお母さんから「うちの子は本を読みません。どうしたらよいでしょうか?」のお話を・・・これは、文字は読めても、本が読めるわけではないことを示しているようです。“本を読む”ということは、本の言葉を頭の中でイメージし、それを連続させていくこと。そのことなしには、本を読み進めることはできないのです。子どもが文字を拾い読みする姿は、♡愛くるしい♡~♡と思える場面も多くありますが、文字という記号を声に出しているに過ぎないのでは、“本を読んでいる”ことにはならないようです。

ところが、絵本を読んでもらっている子どもの内には、実際には絵の見えない部分(前頁から次の頁へと移っていく空間)でも、まるで映画のフィルムのように、心のスクリーンに映し出しているのです。これができると、ようやく物語りを理解し、楽しむことができるようになるんですね。この眼には見えない絵を見る力=想像力が、今、絵本を楽しみ、将来、自分で本を読むために必要な力になるのです。その力は、『幼いころから絵本を読んでもらうことによって培われていく』ことは、皆さんもう十分に解ってくださっているとと思っています。子どもが、絵本や本と仲よしになってくれるよう!そして、絵本を通して“人として生きること”の大切さを受け取ってくれるように願って!!年齢、心の成長に応じて、心の深いところに寄り添い、子どもの心を励ましていく、そんな絵本に大人がまず出合って①絵、②言葉、③物語りの3つを見極めながら質の高いものを選んでいただきたいと思います。



## 少年団からののお知らせ

少年団交流会(お楽しみ会)を以下のとおり行います。

### 交流会(お楽しみ会)

開催日時 5月16日(土) 午前10時  
集合場所 グリーンシティ集会所



 ご意見、ご要望などをどしどしお書きください。(ご記名をお願いします)

